

喝破する

痛快洒脱に

川柳で

著者 八角 宗林

やすみ そうりん
憲法を生かす匠 九条の会代表。
千葉県匝瑳市に在住。
1953年、埼玉県生まれ。
1976年、成蹊大学文学部文化学科卒。
31年間、高等学校で社会科担当、2006年早期退職(53歳)。
退職後は地域活動に参加。
ブログ「人を笑わず人と笑う」公開。
2019年6月、『語り継ぐ戦争と民主主義』(あけび書房)刊行。

「安保ン丹」とは安倍首相のことです。

長きにわたる安倍政権の悪行・不実の数々。

約200の川柳ひとつひとつに丁寧な解説を付けました。

安倍長期政権の足跡を振り返るのにも便利な一冊です。

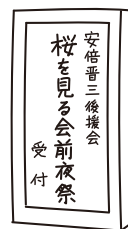
追従で
国を損なう
安保ン丹

川柳で安倍政権を捌く

八角 宗林
Yasumi Sorin



あけび書房



第1章 前期安倍内閣

2006年9月～2007年8月

美しい国／愛国心、戦後レジームからの脱却
消えた年金／不祥事

第2章 後期安倍内閣

2012年12月～

麻生副総理の失言／東日本大震災・東電福島第一原発事故
特定秘密保護法平和・改憲
積極的平和主義・集団的自衛権／戦争・武器輸出／沖縄
共謀罪・表現の自由・言論の自由／安倍外交
経済・社会政策／見せ掛け政治／森加計問題
復古主義・右傾化・国家主義
安倍首相・側近批判、その他／桜を見る会
詠み納め／まだ言い足りずまとめの二句

本書「まえがき」より

一国の総理大臣を「安保ン丹」などと呼びました無礼を、まず、お詫びします。無礼そのものですから。

ではありますが、凡夫の習い、言わせていただきたい言い訳がございませう。このように言われしめする安倍首相の不実です。それをご納得いただきたく、川柳を並べましたので、順次、ご鑑賞のほどお願いいたします。

本書「あとがき」より

では、安倍政権の本質とは何でしょうか。

これを端的に表しているのが、安倍首相が繰り返す「私は立法府の長」発言と、復興特別税のうち、復興法人税だけをいち早く廃止したことです。

前者は、首相たるもの行政権と立法権を持たねばならぬとの主張です。ならば、三権分立の否定です。つまり、独裁です。後者は、安倍政権が財界の利益と一体であることを教えています。

四六判上製・80ページ

本体1200円

ISBN978-4-87154-175-6

あけび書房

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5
TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609
http://www.akebi.co.jp akebi@s.email.ne.jp

ご購入のうえ、最寄りの書店が取扱先、あるいはあけび書房が著者へご注文下さい。

発行 あけび書房 TEL03-3234-2571 FAX03-3234-2609

注文書

書店印・取扱先

追従で国を損なう安保ン丹 川柳で安倍政権を捌く ()冊 注文します

その他・備考

氏名・団体名

ご担当者
氏名

送り先 〒()-()

電話 ()